

告知!

第18回 全国塾長・職員研修大会 **1年のび太!** オンライン参加可!

日本のシステムを変える。

もちろん教育も。2021年4月18日(日) 14:00~17:40

現地にいらっしゃるのなら(ぜひ現地で!)

東京・大井町「きゅりあん」(品川区立総合区民会館)

東京都品川区東大井5-18-1 品川駅から電車で3分。大井町駅より徒歩1分。

ご近くでのご参加は、目の前のスマホ・仕事場のパソコンからZOOM参加!

久しぶりにお会いしましょう!

昨年に続き今年も!オリンピックイヤー!そう!私塾ネット設立20周年記念大会です。3つの任意団体が一つとなった私塾ネットは、2001年(H13年)10月に品川プリンスホテルで産声を上げました。二十歳の成人式を迎える私塾ネット。20年を機に深化します。

私塾ネットの役割。それは教育に関わるすべての人のハブ(Hub)となることです。ハブ(Hub)=そこに繋がると他の人に繋がる。お互いの信頼関係の上に次から次へと人が繋がり、情報や元気がもらえる。相談できる相手が見つかる。人生の師に巡り会える。その手助けの場が私塾ネットです。利害関係が無く営業も絡まない任意団体「私塾ネット」。この20年間で培ってきたことは、人と人とを繋げる「ネット(網)」ではなく、繋がる役目をする「ハブ(Hub)」であること、そのことに我々は一昨年改めて気づかされました。

私塾ネット会員の重要な役割は、人と繋がること。繋がりが繋がりを産む。それが私塾ネットの醍醐味です。3つの任意団体からの歴史も含めれば、人と繋がることを60年も営々と続けてきたことになりま。

<1年のび太>

今回の20周年記念大会。人の動きが全く変わってしまったこの1年。世界の誰とでもZOOMですぐに繋がるなんて考えもしませんでした。今まで培ってきた人と人の繋がりとぬくもり。この繋がりをもっと深め、ぬくもりを感じるためには本大会をどのようにすればよいのか...

〜む〜…呻吟中です。私塾ネットらしい研修会。今回も「参加者全員が主役」を変えません。

小説『首都感染』『TSUNAMI』の作者、元塾経営者であり、全国学習塾協同組合理事の高嶋哲夫先生にご講話いただく20周年記念講演。戦後営々と築いてきたやり方ではなかなかうまく行かぬ事が見えてきた昨今。変わること抵抗する心。絶えず変化せねば滅びゆく運命(さだめ)。不易流行。変えてはならぬものを明言できる日本人はどのくらいいらっしゃるのか?

混迷する世界で、日本が進む道筋を明らかにします。高嶋哲夫先生の「日本のシステムを変える」にご期待ください。

大会会場でもZOOMでも、小グループに分かれて意見を聞き合ひましょう。思いを分かち合う場を作ります。移動が自由になった後、お会いできたときにはもっとも聞き合ひたいという仲間を作りたいです。そんなきっかけとなる20周年記念大会。分け隔て無く学び合ひます。

奇しくも翌日4月19日はシジュクの日。東京、大井町!もしくは液晶画面上に!必ず来てくださいね!お待ちしております!

研修部長 田中 宏道
(LAPIS 鎌ヶ谷・千葉県)



当日のプログラム(プログラムは予定であり、変更になる場合があります)

①『20周年記念式典』(60分) 14:00~15:00

- オープニング 映像で贈る「私塾ネット20年」
 - 主催者挨拶:私塾ネットセンター理事長:仲野十和田(東京・埼玉:ナカジユク)
 - ご来賓祝辞(私学代表、学習塾代表、協賛企業代表)
 - 功労者へ感謝 長年のエリア代表、そして元エリア代表 全国から状況報告。「私の代表時代、そしてエリアの今」
- <休憩 20分>

②講演『日本のシステムを変える。~もちろん教育も~』講演者:高嶋 哲夫先生(60分) 15:20~16:20

③深化。深める。深まる。(45分) 16:30~17:15

- セッション『どう思う?どうする?そして最近どう?』 ●会場でもZOOMでも6人1組になって、思いを聞き合ひましょう。

④『ふりかえりと感謝』(25分) 17:15~17:40

- 私塾ネット各エリアなどから ●謝辞 私塾ネット会長:鈴木正之(東京:いびき学院)



講演者:高嶋 哲夫<プロフィール>

1949年7月7日、岡山県玉野市生まれ。小説家。兵庫県神戸市在住。岡山県立玉野高等学校、慶應義塾大学工学部卒業、慶應義塾大学大学院修士課程修了。

日本原子力研究所(現・日本原子力研究開発機構) 研究員を経て、カリフォルニア大学ロサンゼルス校に留学。1981年に帰国後、学習塾を経営。1999年、「イントゥルーダー」で第16回サントリーミステリー大賞・読者賞をダブル受賞し、本格的に作家デビューする。2010年、『風をつかまえて』が第56回青少年読書感想文全国コンクール課題図書(高等学校の部)に選定された。同じく2010年に発表した『首都感染』が2020年の新型コロナウイルス感染症拡大を予言しているとして話題となった。2017年に『福島第二原発の奇跡』でエネルギーフォーラム賞優秀賞を、2020年に第1回「日本応用地質学会表彰」を受けた。日本推理作家協会、日本文芸家協会、日本文芸家クラブの会員。全国学習塾協同組合副理事長。



<高嶋氏のメッセージの1つ>

『首都感染』の作者です。タブン、政府や専門家のエライ先生はすでに考えて、却下したのだと思うけど。

『コロナ・ワクチン接種に向けて』

- ◎「ワクチン接種」は東京、首都圏から地方へ。
- ◎現在、感染を広めていると思われる都会の20代~30代の若者中心に。そして高齢者。
- ◎数百人の医師、看護師の「ワクチン接種医療グループ」を作る。
- ◎接種手順のノウハウを得ながら、東京を中心に首都圏で数日でやり遂げる。
- ◎東京が済んだら、その医療グループが「大阪」「名古屋」「福岡」と大都市を回る。
- ◎最初のワクチン量(3600万人)で十分足りる。3割程度で集団免疫が期待できる。

『今のやり方だと、大混乱が起こる』

- ◎高齢者のワクチン接種は大変。施設に入っていたり、一人で動けなかったり人も多い。認知症の人もいる。
- ◎ワクチンの温度管理が大変なので、無駄にするワクチンが大量に出る。外国で多発。
- ◎県によっては感染者は1桁~2桁。ワクチン接種をする必要あるのか。

これ、個人的な意見だけど。多分正しい。言葉足らずかもしれないけど。間違っただけじゃ、また詳しく書きます。間違っただら、ごめんの1万乗。

<高嶋氏の主な著書>

「イントゥルーダー」「都庁爆破!」「ミッドナイト・イーグル」等他多数。
※上記3作品はテレビドラマ化

最新刊▶『首都感染』後の日本

東京一極集中、IT 後進性、危機管理能力……コロナが示した「日本の弱点」と必ずやって来る「東京直下型地震」のすさまじき破壊力。これは「予言」ではない。首都を襲う自然災害は必ずやってくる——
●コロナに振り回され続ける日本人 ●『首都感染』を書いた理由と動機 ●コロナと自然災害の類似点と相違点 ●「現実を受け入れる力」が試される ●一極集中型のリスクと「道州制」 ●東京直下型地震の確率と被害予測

<お問い合わせ・お申し込み>

申し込み締め切り日:4月12日(月)

WEBサイトから form.shijuku.net
カンタン参加申し込み!▶事務局:長江広紀
神奈川県川崎市中原区
新城 5-9-25(英数学院内)

TEL:090-6548-4349

E-mail:center-office@shijuku.net

